

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
実務演習 2											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	150	単位	5
担当教員	小林 猛			実務経験	有	職種	不動産会社で開発業務に従事				
授業概要											
建築に関する実際の仕事に即した学習により、高度な専門技術を修得します。											
到達目標											
建築設計者に必要なスキルとして、社会に適合する建築物を設計するための能力を身につける。クライアントなどの関係者や周辺地域、社会情勢などを踏まえ「希求される建築」を計画することを目指し、社会に出た際の建築家倫理、職業能力を養うことを到達目標とする。											
授業方法											
「設計計画2」との関連を持って行う。「設計計画2」で学習している設計案やプレゼンテーションの修正等を行う。自らの設計案がどのような点を改善すれば実現することが可能となるかを検討し、そのための改善を行う。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
「設計計画2」の授業と関連があるため、欠席をしないように注意すること。自らの計画案と関連のある資料・文献等を収集すること。配布する資料するは毎回の授業に持ってくること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。											
教科書教材											
授業配布資料											
回数	授業計画										
第1回	過去の成果物等や連携企業からの課題説明を踏まえ、課題の主旨を理解する。										
第2回	課題敷地および周辺状況調査、対象物件の既存調査（寸法等）ができる。										
第3回	既存調査で得た情報を基に、既存図面を作成することができる。										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
建築学科	
実務演習 2	
第4回	既存図面を基に、写真と照らし合わせ、劣化度等状況を把握することができる。
第5回	既存図作成①②を踏まえ、現状の物件の問題点等発表することができる。
第6回	コンセプトの策定、問題点の明確化、改善ポイントの明確化を行うことができる。
第7回	担当教員とのエスキスを通して、自己の案の改善・修正を行うことができる。
第8回	計画案①を踏まえ、さらに改善された計画案②を作成することができる。
第9回	担当教員とのエスキスを通して、自己の案の改善・修正を行うことができる。
第10回	他者に伝わるようプレゼンテーションすることができる。
第11回	計画案から実施案への展開を行うことができる。
第12回	計画案の構造計画を行うことができる。
第13回	計画案の展開図、仕上げを作成することができる。
第14回	計画案の概算予算、展開図をさくせいすることができる。
第15回	他者に伝わるようプレゼンテーションすることができる。